

三菱化工機ニュース（プレスリリース情報）

No.447 平成30年3月29日

企画部 経営企画グループ

“三菱SOxスクラバーシステムのSOxスクラバータワー”が ステンレス協会のステンレス協会賞優秀賞を受賞

三菱化工機株式会社（社長：高木 紀一）は、船舶用エンジンの排ガスからSOx（硫黄酸化物）を効果的に除去する排ガス浄化システムを三菱重工工業株式会社と共同開発し、営業展開しています。

この度、本システムのメイン機器であるスクラバータワーがステンレス協会のステンレス協会賞優秀賞を受賞しましたのでお知らせします。

ステンレス協会は、ステンレス関連企業及び団体が協力し、ステンレス鋼製品の需要開発、技術向上、調査研究の充実等を図り、国際見地に立ったステンレス鋼産業の健全なる発展を期すると共に、わが国産業、経済、社会生活及び国民生活の繁栄に寄与することを目的に、1959年に設立されました。

1 ステンレス協会賞表彰について

(1) 概要

本表彰制度は、社会に幅広く活用されているステンレス製品のうち、社会環境との調和や新たな文化の創出に寄与した優れた機能性・意匠性・独自性を有したものを表彰する制度です。

(2) 受賞内容

①種類 : ステンレス協会賞 優秀賞 * 同部門賞は他に9件（作品カテゴリー：機能性部材）

②選考理由 : SOxスクラバーシステムとは、船舶用エンジンの排ガスからSOx（硫黄酸化物）を効果的に除去する排ガス浄化システムで、国際海事機関（IMO）により規定されている大気汚染物質の国際基準に適合させるための装置です。国産で初めて船籍国の承認を得たものです。本装置の中核機器であるSOxスクラバータワー内部は厳しい腐食環境となり、炭素鋼やSUS304などの汎用ステンレス鋼では耐食性が不十分であることから、耐食性の高い二相ステンレス鋼SUS329J4Lやスーパーオーステナイトステンレス鋼SUS836Lが当該機器の構成部材として採用されました。環境負荷低減に貢献する排ガス浄化システムは今後の需要拡大が期待されるものであり、高耐食ステンレス鋼の新たな用途拡大に繋がっています。

③推薦会社 : 日本冶金工業株式会社

現在、船舶の運航時の排出ガスについてはIMOの海洋環境保護委員会において、2020年1月1日以降、ECA（Emission Control Area：汚染物質の排出規制海域）を除く世界の全海域で船舶用燃料に含まれる硫黄分の規制が現行の3.5%以下から0.5%以下に強化されることが決まっています。海洋汚染防止条約では、硫黄分0.5%以下の船舶用燃料を使用する代わりに、条約締約国の主管庁が認めた同等の実効性を有する装置を船舶に搭載することで、硫黄分3.5%の従来の船舶用燃料を使用することが認められています。

本SOxスクラバーシステムは、2015年のECA規制以降強化されたSOx排出規制に国産で初めて対応するシステムとして、製品化されたものです。取水した海水を直接排ガスに散布して洗浄する海水ワンパスモードと、洗浄水に清水を使用し排ガス洗浄後に苛性ソーダで中和処理して再度排ガスに散布するクローズドループモードという2つの洗浄モードを使用するハイブリット型があり、航行海域の海水の性状等に影響されることなく、安定した排ガス洗浄性能を発揮します。

三菱化工機は本SOxスクラバーシステムにより、今後とも大気汚染防止対策をはじめとする様々な環境保全に取組み、地球規模で増大している環境負荷の低減に貢献していきます。

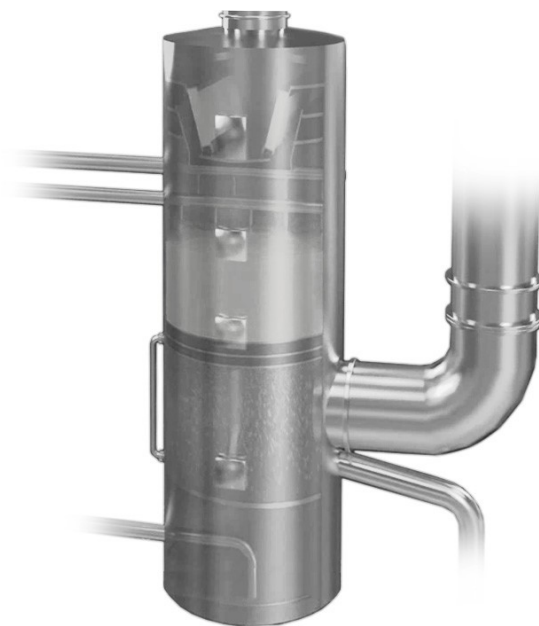
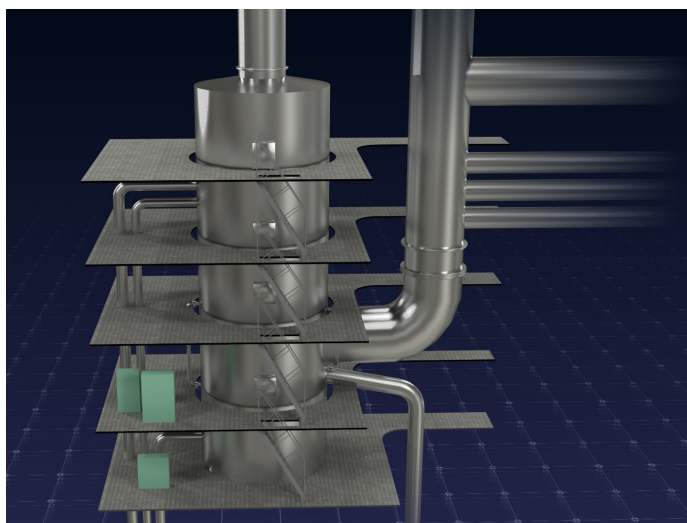
以上

お問い合わせ先


三菱化工機ニュース（プレスリリース情報）

No.447 平成30年3月29日
企画部 経営企画グループ

“三菱SOxスクラバーシステムのSOxスクラバータワー”が
ステンレス協会のステンレス協会賞優秀賞を受賞



お問い合わせ先

 **三菱化工機株式会社** 川崎市川崎区大川町2番1号 企画部 経営企画グループ